

項目	入力欄	入力の際の注意
科目名	専門演習(行政法)	必須
教員名	清水晶紀	必須
授業概要とねらい	<p>【テーマ】 から学ぶ行政法学</p> <p>行政法とは、行政の組織や活動を規律する法的ルールの総称であり、行政法学とは、それらのルールに共通する理論を探究する学問です。ただし、行政法の特徴を持つ法律だけでも、その総数は2000を超える膨大なものであり、本演習においてこれを全て研究対象とすることは困難です。そこで、本演習では、ある一つの行政分野を対象を絞って、行政法学の主要論点を検討したいと考えています(特定の行政分野を集中的に取り上げることで、行政法学の主要論点を整理しやすくなるという効果も生まれますし、ゼミ生にとっては、「当該行政分野のスペシャリストになれる」というメリットが生まれるはず)。</p>	<p>必須 全角300字以内</p> <p>セル内で改行する場合は、「Altキー」を押しながら、「Enterキー」を押してください。</p>
望ましい水準	<p>学問的な水準</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>行政法学の基礎知識が最終的に身につけていること</li> <li>行政法学的な視点で演習中の議論を行えるようになること</li> <li>卒業研究のテーマ設定を独力で行えるようになること</li> </ul> <p>技術的な水準</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>適切な資料や文献を収集読解する能力が身につけていること</li> <li>論点を明確に提示したレジュメを作成できるようになること</li> <li>ゼミ参加者が理解できるような報告をできるようにすること</li> <li>論理的かつ明快な文章を書けるようになること</li> </ul>	<p>必須 全角200字以内</p> <p>セル内で改行する場合は、「Altキー」を押しながら、「Enterキー」を押してください。</p>
授業計画	<p>2018年度に具体的にどのような行政分野を選択するのか(例:環境、福祉、食品、警察、文化、建築、経済、労働、交通、教育、科学技術、租税、観光、災害...)、研究素材として何をを用いるのか(例:裁判例、論文、立法資料、行政資料...)については、新ゼミ生が確定した後に、新ゼミ生のみなさんと相談の上で決定します。</p> <p>(注1)他大学のゼミと交流学習を行う可能性があります。その場合のゼミテーマは、先方との調整を経て最終決定します。</p> <p>(注2)参考までに、これまでのゼミテーマを掲げておきます。</p> <p>2008年度:「ゴミ」から学ぶ行政法学 2009年度:「まちづくり」から学ぶ行政法学 2010年度:(前期)「自然の権利」から学ぶ行政法学 (後期)「原子力発電所」から学ぶ行政法学 2011年度:(昼間主)「まちづくり」から学ぶ行政法学 (夜間主)「自治基本条例」から学ぶ行政法学 2012年度:(前期)「東日本大震災」から学ぶ行政法学 (後期)「災害後の生活保護」から学ぶ行政法学 2013年度:(前期)「原発と基地の比較検討」から学ぶ行政法学 (後期)「まちづくり」から学ぶ行政法学 2014年度:(前期)「都市法」から学ぶ行政法学 (後期)「国家賠償」から学ぶ行政法学 2017年度:「社会福祉」から学ぶ行政法学</p> <p>また、以上とは別に、卒業研究に向けて、各参加者から自らの研究テーマを絞る過程を報告してもらい、演習での検討を通じて各参加者の研究計画を煮詰めていきたいと考えています。</p> <p>(注3)卒業研究の研究テーマは、行政法と「関連」するものであれば、なんでも(もちろんゼミテーマと無関係でも)OKです。</p>	<p>必須 15回分記載してください</p> <p>セル内で改行する場合は、「Altキー」を押しながら、「Enterキー」を押してください。</p>
教材・教科書	適宜指示します。	全角200字以内
参考図書	<p>本演習受講前に、以下のいずれか(または他の教科書)を購読して、行政法のイメージを掴んでおいて下さい。</p> <p>原田大樹『グラフィック行政法入門』(新世社・2017) 宇賀克也編『ブリッジブック行政法【第3版】』(信山社・2017) 藤田由晴『行政法入門【第7版】』(有斐閣・2016) 皇山武道=下井康史編『はじめての行政法【第3版】』(三省堂・2016)</p>	全角200字以内
参考URL		半角100字以内
授業以外の学習	<p>当たり前のことですが、報告や卒業研究の準備は、ゼミの時間外に行うことが多くなります。また、何回かのゼミでは、ゲストスピーカーを招いて講演してもらったり、フィールドワークを実施したりすることを検討しています(例えば、2017年度は、国立ハンセン病療養所の所在する群馬県草津温泉で現地踏査を実施した他、福島県保健福祉部の職員の方を招く予定です)。「日ごろ勉強していることが実務の現場でどう活用されているのか/いないのか」に接する機会を設ける予定です。</p> <p>なお、担当教員としては、ゲストスピーカーとの懇親会をはじめ、各種イベント(花見・芋煮・0806会等)への参加も、広い意味で「学習」の一環であると考えています。</p>	<p>必須 全角300字以内</p> <p>セル内で改行する場合は、「Altキー」を押しながら、「Enterキー」を押してください。</p>
成績評価の方法	<p>演習は学生の皆さんが主体のクラスであるため、出席は当然の前提です。就職活動等、やむをえず欠席する場合には、事前に担当教員まで連絡をするようにしてください。</p> <p>その上で、演習での報告内容、議論への参加状況、レポート内容を総合的に評価します。</p>	<p>必須 全角300字以内</p> <p>セル内で改行する場合は、「Altキー」を押しながら、「Enterキー」を押してください。</p>
成績評価の基準	<p>「望ましい水準」で示した項目を全て満たしていればC、そのうち複数の項目を高水準で満たしていればB、概ねの項目を高水準で満たしていればAの評価が与えられます。</p>	<p>必須 全角300字以内</p> <p>セル内で改行する場合は、「Altキー」を押しながら、「Enterキー」を押してください。</p>
オフィスアワー	初回の授業で説明します。	必須 全角100字以内
留意点・注意事項	<ul style="list-style-type: none"> <li>演習の一環として行うフィールドワーク等の際には、一定の費用がかかることがあります。</li> <li>各種行事は、他のゼミと合同で実施する可能性もあります。</li> </ul>	全角100字以内
その他	<ul style="list-style-type: none"> <li>「演習の主役」は参加者の皆さんです。担当教員は極力発言を控え、サポート役に徹したいと考えています。</li> <li>よく学び、よく議論し、よく遊ぶ皆さんの履修を歓迎します。</li> </ul>	全角100字以内
ディプロマポリシー-大区分1	行政政策学類のディプロマポリシー	<p>必須</p> <p>ディプロマポリシーはプルダウンで選択してください。(セル右側のをクリック)</p> <p>大区分を選択するとそれに対応する小区分が選択できるようになります。大区分と小区分をセットで1つ以上選択してください。</p>
ディプロマポリシー-小区分1	研究分野の知識(行政政策学類)	
ディプロマポリシー-大区分2	行政政策学類のディプロマポリシー	
ディプロマポリシー-小区分2	問題発見・調査・読解能力(行政政策学類)	
ディプロマポリシー-大区分3	行政政策学類のディプロマポリシー	
ディプロマポリシー-小区分3	解決能力・応用能力(行政政策学類)	
ディプロマポリシー-大区分4	行政政策学類のディプロマポリシー	
ディプロマポリシー-小区分4	表現力・コミュニケーション能力(行政政策学類)	
ディプロマポリシー-大区分5	法学専攻のディプロマポリシー	
ディプロマポリシー-小区分5	リーガル・マインド(法学専攻)	
ディプロマポリシー-大区分6		
ディプロマポリシー-小区分6		
ディプロマポリシー-大区分7		
ディプロマポリシー-小区分7		
ディプロマポリシー-大区分8		
ディプロマポリシー-小区分8		
ディプロマポリシー-大区分9		
ディプロマポリシー-小区分9		
ディプロマポリシー-大区分10		
ディプロマポリシー-小区分10		
ディプロマポリシー-その他		